

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	道路課担当課長	森 明彦
都整-16 橋りょう維持補修事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	道路課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針
			道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全な交通を確保するための施設保全を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・橋りょうの長寿命化修繕計画を策定した。
 ・腰越三丁目1番先(神戸橋)の耐震補強のため、詳細設計を行った。
 ・浄明寺五丁目1番先(虹の橋)の橋りょう維持修繕等工事を行うことにより、安全な交通を確保した。
 ・腰越三丁目1番先(神戸橋)の橋りょう維持修繕等工事は、年度内での完了ができないため、翌年度へ繰越しを行った。

2 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	21,084	当初予算(千円)	34,593	
	国県支出金	4,101	国県支出金	17,710	
	地方債		地方債		
	その他	730	その他		
	一般財源	16,983	一般財源	16,883	
	人員配置数	1.8	人員配置数	2.0	
	人件費(千円)	15,344	人件費(千円)	16,525	
事業経費運営	総事業費(千円)	36,428	総事業費(千円)	51,118	
	市民1人当りの経費(円)	206	市民1人当りの経費(円)	289	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

3 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容 平成27年度に横断歩道橋を含む市内207橋の橋りょう長寿命化修繕計画の策定が完了した。今後、限られた予算の中で、全体的に緊急性・優先性を見直し、予算を計上していく必要がある。
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 市内の橋りょうは、架設後相当年数が経過しているため、点検の結果要修繕の橋りょうが多数ある。平成27年度で横断歩道橋を含めた市内207橋の長寿命化修繕計画を策定した。小規模な橋りょうが多く、予防保全のために計画的に、修繕料を予算計上し対応を図る必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	市内の橋りょうは、架設後相当年数を経ており、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき順次補修を行っていく必要があるが、年間で実施が可能な箇所数には限界があるため、計画的に予算計上を行い、橋りょうの維持修繕に努め、安全な交通を確保する。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	市内の橋りょうは、架設後相当年数を経ており、経年劣化等による損傷が現れていることから、順次補修を行っているが、年間で実施が可能な箇所数には限界がある。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、事後保全的な管理から予防的な管理への転換を図り、合理的に維持管理する。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	小規模な橋りょうも多く、計画的な維持管理を行うためには、人員配置の他にも修繕料の予算確保が必要である。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	年度別橋りょう点検数					単位	橋	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
5年に一度の法定点検を行い、橋りょうを適切に管理していくため。	目標値	58	0	33	27	87		58		
	実績値	58	0							
	達成率	100.0%								
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---